

2027年度入試（2026年度実施）より 九州大学工学部 入試制度が変わります（予告）

何が変わるの？

1. 一般選抜（後期日程）

募集単位を**学科群から学科に変更**します。その上で、「電気情報工学科」「材料工学科」「融合基礎工学科」「機械工学科」「航空宇宙工学科」「量子物理工学科」「船舶海洋工学科」「土木工学科」「学部一括(VI群)」について、**募集を停止**します。

2. 総合型選抜

「機械工学科」について、**募集を停止**します。「地球資源システム工学科」について、第2次選抜における大学入学共通テストの**教科・科目を変更**します。

3. 学校推薦型選抜

「融合基礎工学科」「機械工学科」「量子物理工学科」について、大学入学共通テストを課す選抜を**新たに導入**します。

4. 女子枠入試

「材料工学科」「融合基礎工学科」について**総合型選抜にて新たに導入**します。「機械工学科」「量子物理工学科」について、**学校推薦型選抜にて新たに導入**します。

5. 次世代研究者発掘入試

2027年度から本学において「次世代博士人材育成コース」を設置することとともない、「電気情報工学科」「材料工学科」「応用化学科」「化学工学科」「融合基礎工学科」「地球資源システム工学科」について、総合型選抜にて**新たに導入**します。

2027年度入試（2026年度実施）以降の募集予定人員

| 学科等 | 入学定員 | 募集予定人員 | | | | | | | | |
|--------------------|------|--------|-----------|----------|---------|----------|-------|-------|---------|-----|
| | | 一般選抜 | | | 総合型選抜 I | 総合型選抜 II | | | 学校推薦型選抜 | |
| | | 前期 | 後期 | 次世代*1 | 一般枠 | 女子枠 | 次世代*2 | 一般枠 | 女子枠 | |
| 電気情報工学科 | 153人 | I群 | 118人【98】 | —【17】 | — | 10人【8】 | — | (若干名) | — | — |
| 材料工学科 | 53人 | II群 | 116【123】 | — | (若干名) | 6人【3】 | 5人 | (若干名) | — | — |
| 応用化学科 | 72人 | | | 10人 | — | 4人【4】 | — | (若干名) | — | — |
| 化学工学科 | 38人 | | | 5人 | (若干名) | 2人【2】 | — | (若干名) | — | — |
| 融合基礎工学科 | 57人 | III群 | 162【146】 | — | (若干名) | 8人【2】 | 2人 | (若干名) | 3人 | — |
| 物質材料コース 機械電気コース | | | | — | (若干名) | 8人【2】 | 2人 | (若干名) | 3人 | — |
| 機械工学科 | 135人 | IV群 | 101【92】 | —【25】 | — | —【7】 | — | — | — | 7人 |
| 航空宇宙工学科 | 29人 | | | — | — | — | — | — | — | — |
| 量子物理工学科 | 38人 | | | — | 4人【2】 | — | — | — | — | 3人 |
| 船舶海洋工学科 | 34人 | | | — | 8人【5】 | — | — | — | — | — |
| 地球資源システム工学科 | 34人 | V群 | 46人【46】 | 5人【16】 | (若干名) | 2人【2】 | — | (若干名) | — | — |
| 土木工学科 | 77人 | | | — | — | 8人【4】 | — | — | — | — |
| 建築学科 | 58人 | VI群 | 124【124】 | — | — | 6人【6】 | — | — | — | — |
| 学部一括 | *3 | | | —【23】 | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 778人 | | 667人【629】 | 20人【102】 | (若干名) | 66人【47】 | 9人 | (若干名) | 6人 | 10人 |

・赤文字は変更となる選抜、「—」は募集を行わない選抜、【 】は変更前の募集人員を示している。

*1：次世代研究者発掘入試 I（大学入学共通テストを課さない）を実施する

*2：次世代研究者発掘入試 II（大学入学共通テストを課す）を実施する

*3：学部一括は入学定員なし（学科の入学定員から抛出し124名を募集する）

スケジュール

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------|-------|-----|-------|----|-----------|
| 総合型選抜 I | ● 第一次 | ● 第二次 | | | | |
| 総合型選抜 II | | | | ● 第一次 | | ● 第二次 |
| 学校推薦型選抜 | | | | ● 第一次 | | ● 第二次 |
| 一般選抜 | | | | | | ● 前期 ● 後期 |

なぜ変えるの？

・文部科学省は、令和5年度大学入学者選抜実施要項（令和4年6月3日付け 4文科高第 302 号文部科学省高等教育局長通知）にて、各大学の判断により一般選抜に加えて多様な背景を持つ人を対象とした入試※も行うことが望ましいとしています。 ※たとえば「理工系分野における女子等」など

・本学工学部においても、多様な背景を持つ生徒を対象とした選抜を行うために入試制度の見直しを行い、新しい入試枠を導入します。

・具体的には、これまで後期日程で行っていた学科群単位の募集を学科ごとに変更し、一部の学科の後期募集を停止。その分の募集人員を、多様な人材を対象とした新しい入試枠に振り分ける予定です。

女子枠導入の理由

・女性の理工系進学をめぐる社会的背景として、文部科学省の「教育未来創造会議（第一次提言）」では、日本の理工系学部に進学する女子の割合が国際的に低いことが問題視され、改善の必要性があると指摘されています。

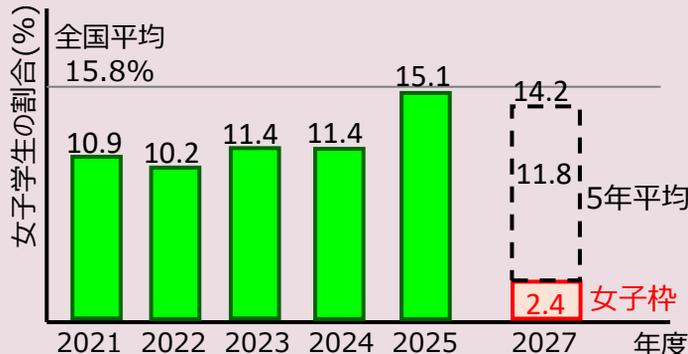
・企業や経済界からも、女性の理工系人材をもっと増やしていくことが強く求められており、経団連は「女性理工系人材の裾野拡大は急務」と提言しています。

・内閣府の調査（2023年10月「共同参画」）によると、全国の工学部の女子割合は約15.8%、理学部では27.8%に対し、本学工学部では5年平均で約11%にとどまっています（下表参照）。

・工学部ではこれまで「パンフレットの作成」や「地域の高校への広報活動」、「教員・学生による高校訪問」、「女子生徒向け講演会」など、女子の理工系進学を後押しする取り組みを続けてきました。しかし、女子学生の割合は低い状況にあるため、女子枠を導入することにしました。

表 本学工学部の入学者に占める女子学生の割合

| 年度 | 入学者数 | 女子学生数 | 女子割合(%) |
|------|------|-------|---------|
| 2025 | 755 | 114 | 15.1 |
| 2024 | 753 | 86 | 11.4 |
| 2023 | 755 | 86 | 11.4 |
| 2022 | 801 | 82 | 10.2 |
| 2021 | 791 | 86 | 10.9 |



次世代研究者発掘入試導入の理由

・日本では、博士号を持つ高度専門人材が諸外国と比べて少ないことが、研究力やイノベーション力、国際競争力の低下につながっているとされています。

・この課題を解決するために、九州大学では2027年4月から「次世代博士人材育成コース」を新設し、高校生の段階から博士課程修了までを一貫して支援・育成します。将来、日本の科学技術をリードする人材を育てることが目的です。

・このコースの入り口として、「次世代研究者発掘入試」を新たに導入します。

→ 高校生の段階で入試を受けて入学するか、入学後に実施される編入試験（学部1～3年生対象）に合格することで参加できます。

・「次世代研究者発掘入試」は、高校生時代の研究体験や課題解決力、研究への意欲などを評価する、新しいタイプの総合型選抜入試です。

詳細情報

・各入学者選抜（九州大学HP 入試情報→入学者選抜方法の変更について）

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=2>

・次世代博士人材育成コース（九州大学未来人材育成機構HP）

<https://mirai.kyushu-u.ac.jp/jisedai-course/>



【お問い合わせ】
九州大学工学部等事務部教務課教務係
kotkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

※入学者選抜方法の変更に関する情報は本学Websiteで随時お知らせいたします。

2026年3月作成